



# みんなできつくる きれいなまち西宮

6月は西宮市のまちを美しくする月間

市は、6月を「西宮市のまちを美しくする月間」と定め、西宮市ごみ減量推進計画「チャレンジにしのみや25」の目標の達成に向け、市民・事業者と協働してごみの減量とリサイクルに取り組みます。

また、市民の皆さんと一緒に取り組む「わがまちクリーン大作戦」などの啓発事業を実施します。

問合せは美化企画グループ(〒662-0934西宮浜3丁目8番0798・35・8653)へ。

## ごみ減量25%を目指して

チャレンジにしのみや25進ちょく状況

市は、平成20年3月に西宮市ごみ減量推進計画「チャレンジにしのみや25」(下表参照)を策定しました。これは、1人1日あたりのごみ排出量を17年度(基準年度)の1161gから

25年度(中間目標年度)に18%減量の950g、30年度(最終目標年度)に25%減量の870gにすることを目標としています。この目標を達成するため市民・事業者・行政が連携・協働してごみ減量・再資源化を推進しています。

20年度のまとめでは、1人1日あたり13%減量の1006gでした。家庭系ごみの組成は、紙類44%、食べ残りなど食品残渣27%、プラスチック23%、草木類5%の順です。この中には、資源A・Bとして分別収集している紙類(新聞・ダンボール・雑誌等)や容器包装プ

## 地球温暖化とごみのお話

### 46億年分の250年

私たちが住んでいる地球が誕生したのは46億年前といわれています。誕生したばかりの地球は、マグマと水蒸気に覆われた生物のいない星でした。やがて生命が誕生し進化を続けた地球が、現在「地球温暖化」という問題に直面しています。

この「地球温暖化」の原因にはどういふものがあるのでしょうか。その原因の一つに温室効果ガスである二酸化炭素の増加が挙げられます。今から約250年前に始まった産業革命以降、産業や交通の発達により温室効果ガスの排出量が増加し、

特にここ数十年、経済の発展によりその増加は顕著になっていきました。二酸化炭素は、物を動かすためのエネルギーとして化石燃料(石油、石炭、天然ガスなど)を燃やすことで発生します。このようなエネルギーや資源を利用することで、たくさん

の製品や商品が製造され、消費、廃棄されます。そして、廃棄物を焼却する際にも二酸化炭素が発生します。つまり、ここ

数十年の間に「地球温暖化」が始まったと考えられます。

では、私たちが地球温暖化対策としてできることは何でしょうか。例えば、買い物にはマイバッグの持参、エコキッキングの実践、ごみと資源の分別を徹底、環境に優しい製品の購入、節電・節水を心掛けるなど、だれにでもできる身近なことから始めてみませんか。

## わがまち グリーン大作戦

6月6日に実施



わがまちクリーン大作戦(昨年の様子)

ラステック類など、再資源化できるものも多く含まれています。さらに分別を徹底すること、資源を有効利用することができ

市と西宮市環境衛生協議会、西宮市ごみ減量等推進員会議は、6月6日に「わがまちクリーン大作戦」を実施します。

市民の皆さんで組織されている団体や学校、事業所などと協力し、市内の公園や道路のごみを拾うなど、まちの美化活動を行います。毎年6月と12月の年2回実施しています。昨年は、延べ981団体の約6万6000人の皆さんが参加し、約192トンのごみを回収しました。

不法投棄の監視一斉パトロール  
西宮市不法投棄防止協議会(国、県、市)は、6月16日に環境美化の啓発と市民の生活環境を守るため、不法投棄多発地点を重点的に一斉パトロールや清掃を行います。



その他の啓発事業  
ごみのポイ捨て防止キャンペーン  
市と西宮市ごみ減量等推進員会議は6月11日に「ごみのポイ捨て防止キャンペーン」を実施します。阪急、阪神、JRの市内8駅でごみのポイ捨て防止を呼びかけます。キャンペーンでは、昨年度の環境美化ポスター展優秀作品(左写真参照)のラベルを採用したポケットティッシュを配布します。

「わがまちクリーン大作戦」に参加して、「自分たちのまちを自分たちの手で美しく」を合言葉に、皆さんの力で美しいまちをつくっていきましょう。

申込方法など問合せは、美化企画グループへ。

## 再生資源の集団回収に 奨励金を交付

市は、地域で自主的に新聞やダンボールなどを回収し、ごみの減量と再資源化に取り組んでいる団体に対して奨励金を交付しています。

平成21年度は、519団体により1万2770トンの紙類やアルミ缶などがリサイクルされました。新規登録希望団体は、事前に登録手続きが必要です。

登録方法など問合せは、美化企画グループへ。

【対象】 次のすべての条件を満たす営利を目的としない地域団体▷構成世帯数が20世帯以上か人数が20人以上である▷年2回以上かつ半年間で500kg以上の再生資源を回収している

【新規登録受付】 6月1日～30日  
※受付は6月と12月の年2回実施

### 粗大ごみの収集

ごみ電話受付センター  
**0798・33・6776**

◆受付時間◆  
月曜～金曜の午前9時～午後7時  
土・日曜の午前9時～午後5時  
※月・火曜は電話が大変込み合います。土・日曜も受付をしていますのでご利用ください

生ごみ処理機や生ごみ堆(たい)肥化容器を、新たに購入する人(事業所を除く)に補助金を交付します。2万円を限度に購入費(消費税込)の2分の1(100円未満切り捨て)を補助します。ただし過去5年以内に補助金を受けている人は除きます。

【補助数】 90基程度  
【申込】 所定の申請書(1世帯1通)を6月30日(郵送の場合消印有効)までに、美化企画グループへ

【対象】 ホームヘルプサービスを利用している一人暮らしの人で、次のいずれかの要件を満たす人▷65歳以上で介護保険の要介護2以上の認定を受けている人▷障害のある人

【対象】 ホームヘルプサービスを利用している一人暮らしの人で、次のいずれかの要件を満たす人▷65歳以上で介護保険の要介護2以上の認定を受けている人▷障害のある人

【対象】 ホームヘルプサービスを利用している一人暮らしの人で、次のいずれかの要件を満たす人▷65歳以上で介護保険の要介護2以上の認定を受けている人▷障害のある人

また、引越などで引き取ってもらえる販売店がない場合は、「義務外品買取協力店」のステッカーを掲示している西宮電化商組合(0798・53・5225)の加盟店舗に回収を依頼してください。

生ごみ処理機などの購入に補助金を交付

【対象】 ホームヘルプサービスを利用している一人暮らしの人で、次のいずれかの要件を満たす人▷65歳以上で介護保険の要介護2以上の認定を受けている人▷障害のある人

また、引越などで引き取ってもらえる販売店がない場合は、「義務外品買取協力店」のステッカーを掲示している西宮電化商組合(0798・53・5225)の加盟店舗に回収を依頼してください。

ごみ処理にかかる費用について  
平成20年度は、17万6026トンのごみを処理し、69億1000万円を費やしました。

1カ月の処理費用は、市民1人あたり1202円(20年10月1日現在の人口47万9038人で算出)。

【処理費用】 69億1000万円(収集・運搬:23億6500万円、処分:45億4500万円)

ごみ出しが困難な人を支援  
市は、ごみ出しが困難な世帯の玄関先まで収集に伺う「こやか収集」を行っています。

申込方法など問合せは、美化企画グループ(0798・63・4758)、美化第2グループ(0798・41・6265)へ。

【対象】 ホームヘルプサービスを利用している一人暮らしの人で、次のいずれかの要件を満たす人▷65歳以上で介護保険の要介護2以上の認定を受けている人▷障害のある人